

◆授業のポイント◆

- ・ 「教えて考えさせる授業」を取り入れた学習過程の工夫
- ・ 数学のよさを実感させる工夫

数 学 科 学 習 指 導 案

学 級 2年2組 (男子22名 女子19名 計41名)
 場 所 2年2組教室 (2年校舎3階)
 授業者 教 諭 安 武 慎 一

- 1 単元 連立方程式 (全14時間)
 2 題材 連立方程式の解き方
 3 本時の実際 (6 / 14)

(1) 目標

- ① 連立方程式の解を効率よく求めようとする。 [関心・意欲・態度]
 ② 文字に式を代入し、解を求める方法を考えることができる。 [見方・考え方]
 ③ 代入法を用いて、連立方程式を解くことができる。 [技能]
 ④ 代入法を用いた連立方程式の解き方を理解することができる。 [知識・理解]

(2) 展開

過程	主 な 学 習 活 動	時間 形態	○指導上の留意点 ◎評価 ※授業のポイントについて
導 入	1 学習問題 【学習問題】 ハンバーガーを2個とジュースを1本買うと、390円だった。ジュース1本の値段はハンバーガー1個の値段より30円高い。ハンバーガー1個とジュース1本の値段はそれぞれいくらか。 【学習課題】 加減法を使わずに連立方程式を解くにはどうすればよいだろうか。	10分 一斉	○ 前時の学習を振り返り、2元1次方程式、解、連立方程式などの用語、加減法を確認する。 ※ 日常生活に関連した学習問題であることを意識させる。 ○ 学習問題を把握させる。 ※ ハンバーガーやジュースの個数を文字で表し、式を立てて解決の見通しをもたせる。 ◎ 学習問題を解決しようとする意欲が高まったか。
	2 教える場面 《個人理解》 【問題】 ケーキ1個とプリンを1個買うと、300円だった。ケーキ1個の値段はプリン1個の値段の2倍である。ケーキ1個とプリン1個の値段はそれぞれいくらか。 3 考えさせる場面 《理解確認》 個人理解できたかをペアで確認する。 学習問題に取り組む。 ・ 個で考えた後、ペアで説明し合う。 ・ 学習問題について解き、発表する。 《理解深化》 (1) $\begin{cases} y = 7x - 2 \\ y = 4x + 1 \end{cases}$ (2) $\begin{cases} x - 3y = 5 \\ 2x + y = 3 \end{cases}$	10分 一斉 8分 ペア 8分 個 ↓ グループ	○ 単項式を代入する問題に取り組みさせる。 ※ 学習事項を生徒と対話しながら、発言、挙手を通じて丁寧に説明する。 ○ 代入法という用語を理解させる。 ◎ 代入法による解法が理解できたか。 ※ ペアやグループで説明し合い、理解確認させる。 ※ 代入法のよさを気付かせる。 ◎ 代入法を用いて解を導くことができたか。 ○ 等値法や式を変形する必要がある問題を代入法で解く。 ◎ 代入法を用いて問題を解決しようとする意欲がもてたか。
展 開	4 評価問題 評価問題を解く。 5 まとめ (自己評価) 「授業でわかったこと」「今後やってみたいこと」をノートにまとめ、学習を振り返る。	8分 個 4分 個	○ 難易度の異なる問題に取り組みさせる。 ○ 生徒に発表させ、本時のまとめを行う。
	6 次時予告 () や分数・小数等いろいろな形の連立方程式を解くことを確認する。	2分 一斉	○ 家庭学習での復習と予習の内容を指示する。
終末			